

キヤノン電子株式会社

<https://www.canon-elec.co.jp/csr/#top>



《将来に向けた取組方針》

キヤノン電子は、生物多様性保全が自社の環境経営に不可欠なものと考え、キヤノングループ共通の生物多様性方針に則り、国内外各事業所を中心とした活動に取り組んでいます。

SDGsの目標達成年次である2030年に向け、各事業所周辺の生物多様性配慮を目的にビオトープの整備や自然環境保全活動の実施、そして全社製品環境対応による社会づくりへの貢献を推進します。そして、様々なイベントで生物多様性の大切さを伝えていきます。全事業所で環境省提供の生物多様性教材や自社オリジナルポスターによる啓蒙活動を進めると共に、本活動を紹介した自社ホームページでは、日・英2か国語対応としグローバルな啓蒙活動も進めています。

「三峰千年の森」整備事業

「キヤノン電子では、「森を守り、山岳を守ることが子孫に残せる唯一の力」と考え東京の水源地である荒川上流の環境を保護するため、2008年より三峯神社周辺の森林整備をはじめ参道脇のシャクナゲ2000本など、計1万本以上の植樹を行っています。



- ・事業所の活動はホームページを通して紹介しています。
- ・日・英の2か国に対応しています。

生物多様性への配慮活動



- ・地域の実情に合わせた生育多様性への配慮活動を展開しています。

啓蒙活動

環境省の生物多様性教材や自社オリジナルのポスターを使い生物多様性の啓蒙活動を行っています。



キヤノン電子は、世界トップレベルの環境経営を積極的に進め、生物多様性保全に貢献します。